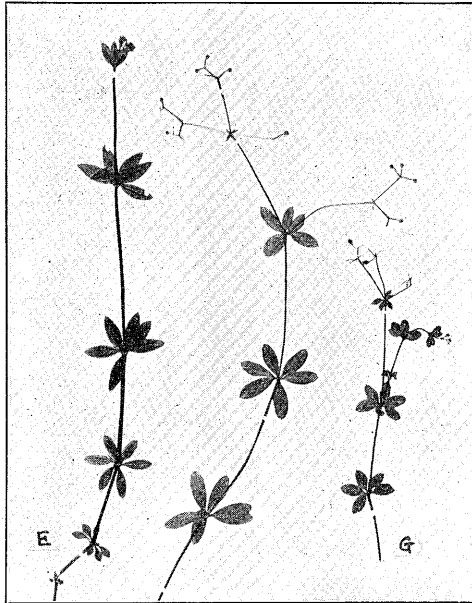


又先ニ述ベタ標本ノ黒變ニツイテハ *Asperuloid* ト稱スル配糖體ノ含有ニヨルト云フ研究ガアルガ、私ノ見タ標本デ言ヘバ *G. japonicum* MAKINO デハ殆ンド皆藍黑色ニ變ジ *G. trifloriforme* KOMAROV ハ鮮綠色ヲ保ツカ或ハ褐色ヲ呈シテ居タ。此ノ日本産ノ兩種ニ果シテ成分ノ相違ガアルノカドウカ、或ハ標本ノ製作法ニ原因スルノカ。斯ウシタ方面カラノ一考察モ興味アル問題デハアルマイカ。

### ひめむぐら

此レハ果實ヲツケタ標本ニヨツテ記載サレタモノデ *Galium* 屬トシテ取扱ハレタケレドモ故ニ階氏ノ花ノ標本ヲ見ルト *Asperula* 屬ノモノデ、MAKINO 博士モ *Asperula trifida* MAKINO ト同一種ト稱シテ居ラレル事ヲ知ツタノデ既知ノ事實カモ知レナイガマダ公ニサレテ居ナイノデー言シタ次第デアル。然シ *A. trifida* MAKINO ノ type 標本ハ「日本植物志圖篇」ニアル様ニ草丈ノヨク伸びタモノデ、*G. shikokianum* ハ小形ノモノニ命名サレタモノト考ヘラレル。



第3圖 *G. trifloriforme* KOMAROV

E. 紀伊産 F. 陸奥産 G. 膽振産

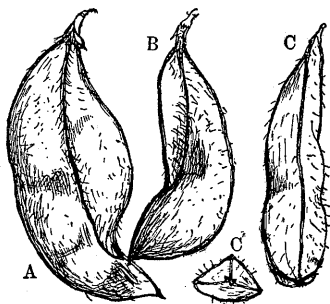
## 植物畸形集 (其三)

松田孫治

M. MATSUDA: Notes on some anomalous Plants (III)

19. まめ (*Glycine Soja* BENTH.) ノ莢果ニ現レタル畸形 まめノ莢果ニ現レ

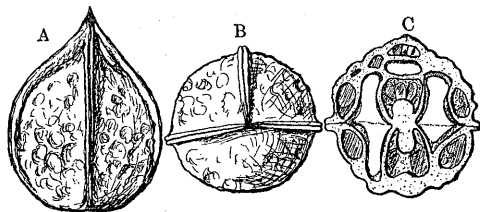
タル第29圖ノ如キ畸形ガアル。A 及ビ B ハ同一縫線ノ兩側ニ莢果ヲ有スルモノデ、A ノ小莢ノ方ニハ一種子ヲ、大形ノ方ニハ二種子ヲ、B ノ大形ノ莢ダケ一種子ヲ入ルモノデ、何レモ先端部ガ遊離シテアツタ。コレハ融合ノ例デ、種子ハ着セル方ノ縫線ニ生ジテアツタカラ、内縫線ガ融合セルモノデアル。C ハ三縫線ヲ有スルモノデ、C' ハC ノ先端部ヨリ見タ圖デアル。コノモノハ二種子ヲ有シ、圖ノ右ノ縫線ニ種子ヲ生ジテアツタカラ、コノ縫線ハ内縫線デ、外縫線ニ當ル方ハ分岐シテキル。通常葉ノ或ル單葉ノ主脈



第29圖 まめノ莢果ノ畸形

ガ、叉生分岐セルモノト比較シテ考ヘルト面白い。

20. おにぐるみ (*Juglans Sieboldiana* MAXIM.) ノ三稜ノ種子 いちやう (*Ginkgo biloba* L.) ノ種子ニ三稜ノモノ (植物及動物、第2巻、第2號) アルヲ知ツタノデ、多分おにぐるみニモアルナラント想像シテ居ツタ所、昭和9年10月某日郷里ノ家ニ歸ヘツタ際、2斗位種子ガアツタノデ、コレヨリ三稜ノ種子ヲ見出シニ掛ツタ。全部ノモノカラ探シ出スコトハ容易デナイカラ、先ヅ5升程ヲ取り出シテ各個ニ就テ調べテ、望ミノモノ4個ヲ發見スルコトガ出来タカラ、此處ニ紹介スル次第デアル。



第30圖 おにぐるみノ三稜ヲ有スル種子

第30圖ニ見ル如ク、稜ハ穀面ヲ3等分スルコトナク、小二穀面ハ略々等シク、他ノ一穀面ハ、小二穀面ノ和ヨリモ稍々小サク大ナル穀面ヲナシ、小穀面2ニ大穀面1ニ圍マレタ形デアツタ。A ハ小二穀面ヲ作ル稜ノ方ヨリ、B ハ先端部ヨリ見タ圖デアル。稜ハ完全ニ臍ニ達スルモノト、然カラザルモノトアツタ。C ハ稜ノ臍ニ達セザルモノノ横斷面デ、白色部ハ子葉部デアル。正常ノ種子ノ横斷面デハ、C ノ兩側ニノミ子葉部ヲ見ルノミデアル。

コノ畸形ハ、小二穀面ヲ作ル稜ノ増加セルモノデアル。

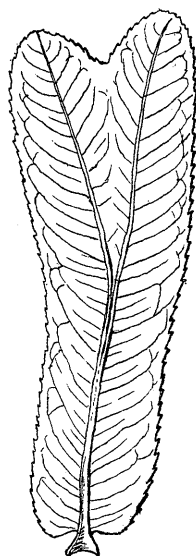
21. いぬこりやなぎ (*Salix integra* THUNB.) ノ叉生葉 いぬこりやなぎハ通常對生葉ヲ有スルモノデアルガ、生長旺盛ナル枝ニハ往々ニシテ、輪生又ハ互生ヲナセルヲ見ル。斯クノ如キ生長旺盛ナル枝ニ、第31圖ノ如キ叉生ヲナセ

ル畸形葉ヲ發見スルコトガアル。圖ハ表面ヨリ描ケルモノデ、主脈ノ分岐部ヨリ下方ニ小溝ガ認メラレ、葉柄ハ顯著ニシテ扁大ヲナシテキル。

22. **くり** (*Castanea crenata* SIEB. et ZUCC.) ノ堅果ノ融合　くりノ堅果ハ通常同一殻斗ニ3個ヲ有スルモノデア  
ルガ、稀ニハ1個、或ハ數個ヲ入レテキルモノガアル。又  
3子房ガ各全部發育シテキル場合ト、1個或ハ2個ノミ發  
育シ、他ハ秕トナツテキルコトガアル。

1個ノ堅果中ニ2乃至3組ノ子葉ヲ有スルコトモ、決シ  
テ珍シクナイ出來事デ、當地方（秋田縣北秋田郡）デハコ  
ノモノヲ、二つぐり又ハ三つぐりト稱シテ、コレヲ食スル  
時ハ、其ノ數ダケノ人ニ分ケテ食フ習慣ガアル。ソノ譯ハ、  
一人デコレヲ食スルト、二つ子又ハ三つ子ヲ產ムト云フ迷  
信ガアルカラデアル。

此處ニ紹介スルモノハ、第32圖ノ3個ノ堅果ガ融合シ  
タモノデアル。コノモノハ内部ノ發育ガ、果實ノ成熟期近



第31圖　いぬこり  
やなぎノ又生葉



第32圖　くりノ  
堅果ノ融合

クシテー層發育ヲナセル故ニカ、果皮ヲ破ルニ至ツタ様ニ  
思ハレル。3個ガ融合シテ生ゼルモノナルコトガ、Aノ側  
面圖及ビ、Cノ側面ノ圖デ別ル。Bハ先部ノ圖デアル。

コノモノハ殻斗カラ離レテ落チタモノヲ入手シタモノ故  
ニ、殻斗ニ就テハ知ラナイガ、殻斗ハ正常ノモノト變リガ  
ナク、一殻斗ノ中ニ、コノモノダケヲ、入レテアツタラウ  
ト私ハ想像シテキル。

23. **いたやかへで** (*Acer pictum* THUNB. subv. *eupic-  
tum* PAX.) ノ三翅果　かへで屬ノモノハ一花ニ二翅果ヲ生  
ズルニ至ルモノデアルガ、第33圖ノ如ク三翅果ヲ生ジタ  
モノガ、いたやかへでニアル。昭和9年10月某日、某地  
ノ川岸ニ生ジタル、相當年數ヲ經タモノカラ、標本ヲ作ラ  
ウト思ツテ採集シテ來テ、胴亂ヨリ取り出シタ際ニ、見出

シタモノデアル。

24. **ちやぼがや** (*Torreya nucifera* SIEB. et ZUCC. var. *radicans* NAKAI) ノ  
葉及ビ枝ニ現レタル畸形　ちやぼがやニ第34圖ノ如キ畸形ヲ生ズルモノガ  
アル。產地ハ、秋田縣北秋田郡大葛村字大谷デ、畑地ノ近クニ栽植セラレアルモ



第 33 圖 いたやかへでノ三翅果品  
ノ如クニ、二萼裂片ヲ有  
スルモノガアル。コノ畸形  
ヲ生ジタ第 35 圖ニ示  
スモノハ、何種カ私ハ知  
ラナイ。後日専門家ニ調  
ベテモラツタ結果、本誌  
ニ發表シタイト思フ。

26. いちやう (*Ginkgo biloba* L.) ノ葉色々 何  
ント云ツデモ、いちやう  
ノ葉ノ變り者ノ中デ、お

はつきいちやう (var. *epiphylla* MAKINO) ノ實ヲツケタ葉ガ第一位デアラウ。  
次ハ宮澤文吾氏が「植物及動物」第 1 卷第 11 號 1679 頁ニ報ジタ、ふくろいち  
やうデアラウ。私ハ此處ニ述ベル葉ハ、何位ニナルカ知ラナイガ、正常ノ葉ト  
ハ著シク形狀ヲ異ニスルコトハ、第 36-37 圖ヲ見ルト分ル。第 36 圖ト第 37  
圖トハ各株ヲ異ニスルモノデアル。

第 36 圖ノ B ハ A ノ裏面デ、裏面下部ヨリ葉柄ニ翼ヲ有スルモノデ、C. D.  
E ハ細長クナツタ、小形ノ葉デ、コレハ短極ニ生ゼルモノデアル。

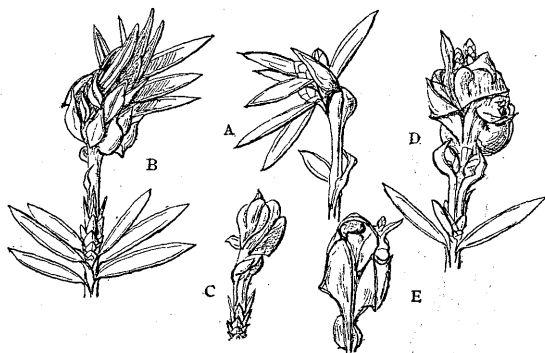
第 37 圖ハ著シク缺刻ヲ生ゼルモノデ、B ハ裏面ノ圖デ、所々ニ葉脈ノ肥大  
セル瘤狀物ヲ生ジテキル。コノ葉ハ長極ノ先端ニ生ゼルモノデアル。

ノデアル。圖ノ標本ハ同一株ニ生ゼルモノ  
デ、其處ニ三株アツタガ、唯一株ノミニ現  
レテアツタ。

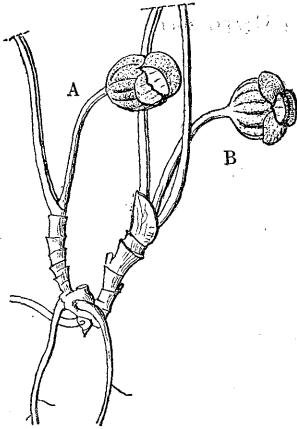
A. B. C. ハ葉柄部肥ノ大セルモノデ、D  
ハ枝ノ先端部及ビ葉柄ノ、著シク肥大セル  
モノデアツテ、E ハ他ノ枝ニ生ゼル D ト  
同ジモノノ縦斷面ヲ示スモノデ、紡錘形ノ  
肉質ノ他ニ、上端ニ小形ノ種子ガ認メラレ  
ル。蟲癭カト色々調べテ見タガ、ソレラシ  
イ様子ガ認メラレナカツタ。

## 25. *Asarum* = *Heterotropa* sp. ノ畸形

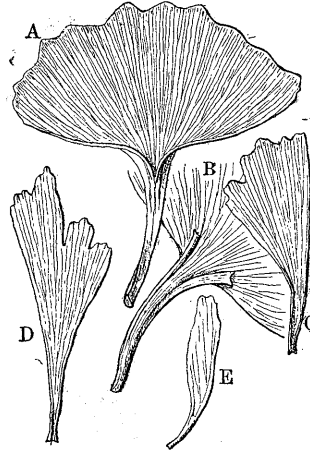
かんあふひ屬ノ正常品ハ、第 35 圖ノ A ノ  
如ク二三萼裂片ヲ有スルモノデアルガ、B



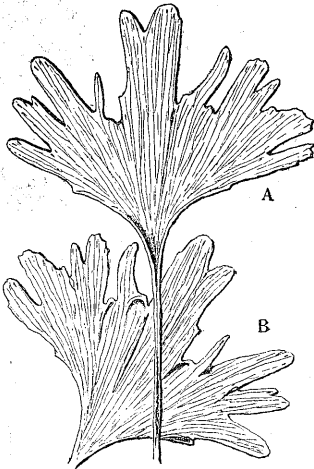
第 34 圖 ちやばがやニ現レタル畸形



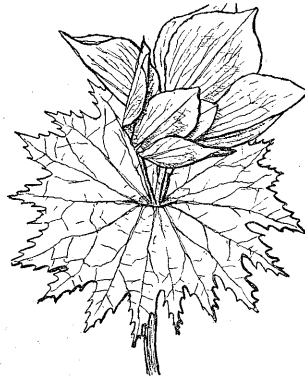
第 35 圖 *Asarum* sp. ノ正常花 (A) ト畸形花 (B)



第 36 圖 いちやうノ葉ノ色々 (1)



第 37 圖 いちやうノ葉ノ色々



第 38 圖 しらねあふひノ双頭花

## 27. しらねあ

ふひ (*Glaucidium palmatum* SIEB. et ZUCC.)

ノ双頭花 しらねあふひハ一花ヲ生ズルモノデアルガ、第 39 圖ノ如ク大小二花ヲ生ジタモノガアル。コノ畸形ハ、莖頂ニ二花梗ガ單獨ニ生ジ

タモノデナク、一花梗ガ基部ニ於テ分岐シ、二花ヲ生ズルニ至ツタモノデアル。一花ハ正常ノ花ト等大デアツタガ、一花ハ著シク小形デアツタ。